

第2章 良好な景観の形成に関する方針

第1節 基本目標

本村は、八重の山々や河川などの豊かな自然の恩恵を受けながら、時代時代の人々の営みによってその歴史を刻んできました。それらが蓄積し、現在の椎葉固有の景観が成り立ってきました。長い時間をかけて変化してきた椎葉の風土や、長い年月刻まれてきた椎葉の歴史を大切に、新しいものをつくる時はそれらとの調和を図ることで、椎葉らしい景観を育てていきます。

基本目標

椎葉の歴史と豊かな自然を守り、
人と風景が共に育つ景観まちづくり

村への愛着や誇りを持った村民の心が、心地よい地域景観を守り、育み、次世代へ継承していくことにつながります。この村民の心を原動力に、雄大な自然と歴史・文化が織り成す椎葉らしい景観を“守り”“育み”“つくり”ながら、椎葉村民の心が通った景観づくりを推進していきます。

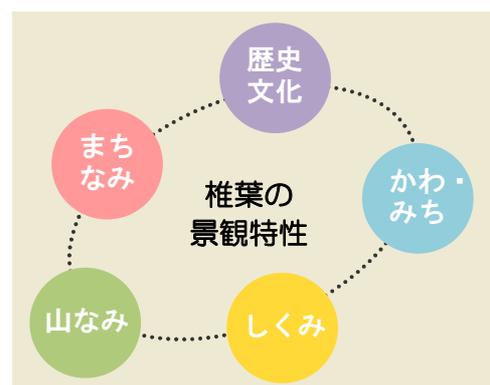
そのため、村民一人ひとりが心から村の景観づくりの取り組み、椎葉の魅力と固有の景観づくりを次世代に引き継ぎ、住む人にとっても、訪れる人にとっても、心地よいまちとしていくために、以下を景観づくりのキャッチフレーズとして定めます。

キャッチフレーズ

あばかん自然と平家伝説・かて〜りの里
わが村椎葉を美しくうしゅうや！
未来をこしらうや！

第2節 景観形成の基本方針

次世代へ継承すべき椎葉の景観を「守り」「育み」「つくり」つつ、目標とする椎葉の景観を実現していくため、本村の景観を構成している5つの特性ごとに、景観づくりの基本方針を以下のように定めます。



歴史・文化

- ① 平家伝説ゆかりの景観や歴史的景観を守り・育てる！
- ② 神楽や焼畑等の固有の文化的景観を守り・育てる！



かわ・みち

- ③ 耳川・ダム周辺等の河川景観、これと並行する幹線道路景観の骨格景観軸を守り・育てる！



まちなみ

- ④ 村の顔となる市街地の景観を守り・育てる！
- ⑤ 懐かしさを感じる牧歌的な集落地の文化的景観を守り・育てる！



やまなみ

- ⑥ 八重の山なみへの良好な眺望景観を守り・育てる！



しくみ

- ⑦ “かて～りの里景観まちづくり”の意識啓発を図る！
- ⑧ 効果的な景観形成を促す仕組みづくり！
- ⑨ 観光振興に向けた効果的な景観 PR を図る！



歴史・文化的景観

①平家伝説ゆかりの景観や歴史的景観を守り・育てる！

椎葉ブランドを形成している大きな要素として、鶴富姫と那須大八郎の悲恋の物語や、鶴富屋敷、椎葉巖島神社等の平家伝説にまつわる歴史的な資源が上げられます。

住民意向調査においても、「鶴富屋敷や椎葉巖島神社等の平家伝説をしのばせる景観」が、最も椎葉らしさを感じる景観として上げられています。また、「十根川集落周辺」が守り育てるべき重要な場所として第4位に上げられています。

| 椎葉らしさを感じる景観 (n=726) | | | 椎葉の守るべき景観 (n=726) | | |
|---------------------|-----------------------------|------------------|-------------------|--------------------|------------------|
| 1位 | 鶴富屋敷や八村杉など平家伝説をしのばせる景観 | 45.2% (n=328) | 1位 | 鶴富屋敷、椎葉巖島神社周辺 | 40.9% (n=297) |
| 2位 | 日向椎葉湖や上椎葉ダムが織り成すダム湖周辺景観 | 44.5% (n=323) | 2位 | 上椎葉ダム周辺(女神像公園など) | 40.8% (n=296) |
| 3位 | 集落や道路の背景となる急峻な山並みの景観 | 40.4% (n=293) | 3位 | 国道、ひむか神話街道など幹線道路沿線 | 36.9% (n=268) |
| 4位 | 風土に生まれ受け継がれてきた神楽や焼畑などの文化的景観 | 36.6% (n=266) | 4位 | 十根川集落周辺(十根川神社周辺) | 31.0% (n=225) |
| 5位 | 椎葉の骨格を成す耳川が流れる景観 | 35.3% (n=256) | 5位 | 上椎葉市街地周辺 | 25.3% (n=184) |

※住民意向調査より

そのため、これらの景観資源を重点的に保全・育成し、その他の点在する歴史的資源との連携を図りつつ、椎葉らしさや椎葉ブランドを強化することにより、観光振興につながる景観づくりを効果的に推進していきます。

②神楽や焼畑等の固有の文化的景観を守り・育てる！

椎葉は柳田國男の「後狩詞記」の題材となった地であり、日本民俗学発祥の地であるとともに、多彩な神楽や焼畑等の民俗学的に価値の高い素材の宝庫です。また、その他、様々な祭事や棚田等の生活文化から長い時間をかけて醸成された文化的景観も随所に見られます。

住民意向調査においても、「神楽や焼畑などの文化的景観」が、椎葉らしさを感じる景観として第4位に上げられています。

そのため、これら文化的な景観についても上記の歴史的景観と合わせて保全・育成を図り、観光まちづくりに活用していくことにより、椎葉らしい景観づくりと地域振興につなげていきます。



かわ・みち景観

③耳川・ダム周辺等の河川景観、これと並行する幹線道路景観の骨格景観軸を守り・育てる！

山地の合間を縫うように流れる耳川やこれと並行して走る幹線道路は、村の景観構造の骨格軸であるとともに、村内外の人々の主要な動線であり、最も多くの人に見られやすい地域と言えます。

住民意向調査においても、「ダム周辺の景観」、「耳川が流れる景観」が、椎葉らしさを感じる景観としてそれぞれ第2位、第5位に挙げられています。また、「国道、ひむか神話街道などの幹線道路沿線」は、守り育てるべき重要な場所として第3位に挙げられています。

そのため、これら椎葉景観の骨格となる河川や幹線道路沿線の景観を重点的に保全・育成し、村内外の人々が景観の向上を早期に実感できるような、効果的な景観形成を推進していきます。

まちなみ景観

④村の顔となる市街地の景観を守り・育てる！

上椎葉市街地、および岩屋戸市街地、尾前市街地等は、まとまった市街地の形成された地区であり、村の景観構造の核であるとともに、幹線道路沿道と同じく多くの人に見られやすい地域と言えます。

住民意向調査においても、「上椎葉市街地周辺」が、守り育てるべき重要な場所として第5位に挙げられています。

そのため、これら村の顔となる主な市街地の景観を重点的に保全・育成し、より多くの方が景観の向上を早期に実感できるような、効果的な景観形成を推進していきます。

⑤懐かしさを感じる牧歌的な集落地の文化的景観を守り・育てる！

市街地のほか、幹線道路より一步入った山間部に、柳田國男ゆかりの地（竹の枝尾日当地区）周辺の集落地等をはじめとした、どこか懐かしさを感じる牧歌的な雰囲気漂う集落地が点在しています。これらの集落地は、長い時間をかけて先祖代々受け継がれてきたものであり、生活文化が醸成した椎葉らしさを構成する重要な景観の一つと言えます。

そのため、これら集落地の文化的景観を保全・育成することにより、地域住民が地域を愛し、さらにより良い景観づくりに取り組むような正のスパイラルアップにつなげ、椎葉景観の底力を醸成していきます。

山なみ景観

⑥八重の山なみへの良好な眺望景観を守り・育てる！

村の大部分を占める九州山地の急峻な山なみ景観は、道路・集落等の全ての景観の背景となっており、椎葉の景観の土台となる景観と言えます。

住民意向調査においても、「集落や道路の背景となる急峻な山なみの景観」が、椎葉らしさを感じる景観として第3位に挙げられています。

そのため、多くの方の目につきやすい幹線道路や集落地からの見え方に特に配慮しつつ、これら山なみ景観を保全・育成し、椎葉景観の底力を醸成していきます。

景観形成推進のしくみ等

⑦“かて～りの里景観まちづくり”の意識啓発を図る！

村の隅々まで目の行き届いたきめ細かな景観づくりのためには、住民主導による草の根的な景観づくりが必要です。そのため、景観関連の計画づくりや整備のプロセスの中で、景観づくりに対する住民の意識啓発を促すような工夫を織り込み、「かて～り精神」に乗っ取った住民主導の景観まちづくりの土台となる、景観への住民意識の向上を図っていきます。

⑧効果的な景観形成を促す仕組みづくり！

地域景観は、色彩等を除いて定量化の難しい事象です。また、良好な景観形成のためには、同じ村内においても一概に同様のルールが有効とは限らず、地区ごとに周辺との調和を総合的に勘案しつつ、最適なデザイン等を検討していくことが必要となります。

このため、景観のルール自体が定性的で幅のある表現になることが多く、良好な景観形成は運用者の裁量に委ねられる部分が多少なりとも存在します。

そのため、良好な景観形成の将来にわたる担保を目的に、専門家を含む審査組織、およびネットワークのよいデザインチェックシステムなど、実効性の高い景観形成に向けた運用システム構築を検討します。

また、先の住民主導の景観づくりを促進するために、緑化や修景への助成などのように、これらの動きを支援する制度の創設を検討します。

⑨観光振興に向けた効果的な景観PRを図る！

椎葉には美しい自然とユニークな民族文化など、多様な景観資源が存在し、これらを守り、育て、活用することにより、よりいっそう魅力的で良好な景観が創出されるものと考えられます。

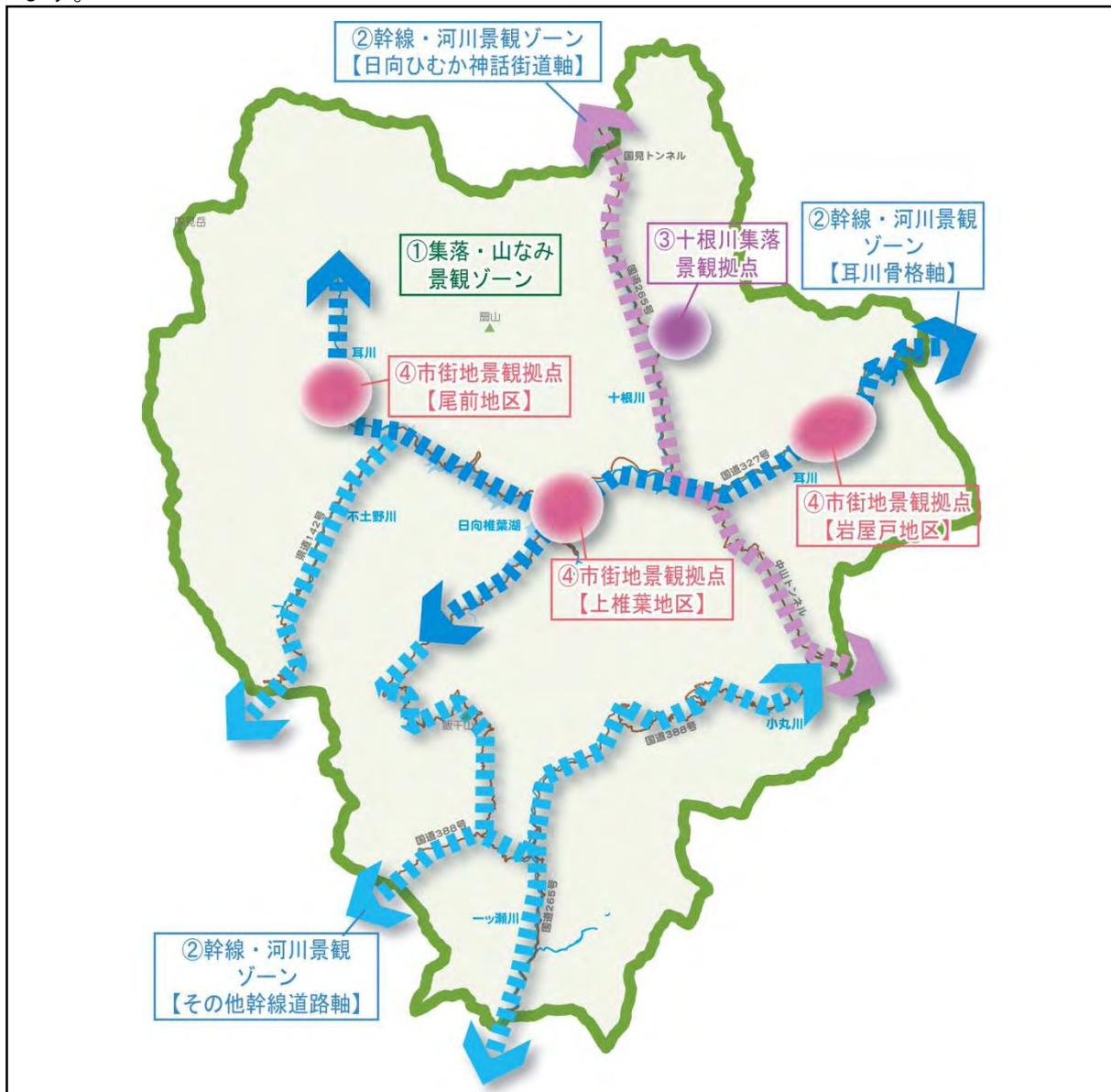
一方、今後の椎葉の産業として、これらの資源を活かした観光等が注目されているところです。

そのため、これら一連の景観づくりを効果的に観光振興につなげていくために、まずは村民自らが椎葉景観の魅力をできる限り把握し、愛着をもって村内外にPRしていく仕組みを構築するとともに、各メディアを駆使して椎葉景観の魅力を戦略的にアピールしていきます。



第3節 景観構造別景観形成方針

景観形成の基本方針を踏まえて、本村の主な景観構造毎に、景観形成方針を以下のように定めます。



▲景観構造区分図

| 【 景観形成方針 】 | |
|----------------------------|---|
| ①集落・山なみ景観ゾーン | 八重の山なみの美しい自然景観、およびこれと調和した棚田・集落の文化的景観の保全 |
| ②幹線・河川景観ゾーン | 幹線道路・耳川等の河川沿線における、景観軸にふさわしい見られることを意識した車窓景観づくり |
| ③十根川集落景観拠点 | 伝統的建築物群保存地区およびその周辺のバッファゾーンにおける、歴史拠点としての保全・育成 |
| ④市街地景観拠点 (上椎葉・岩屋戸・尾前地区) | 上椎葉・岩屋戸・尾前市街地における、村の顔にふさわしい品格のあるまちなみ景観づくり |

1. 集落・山なみ景観ゾーン

(1) ゾーン概況

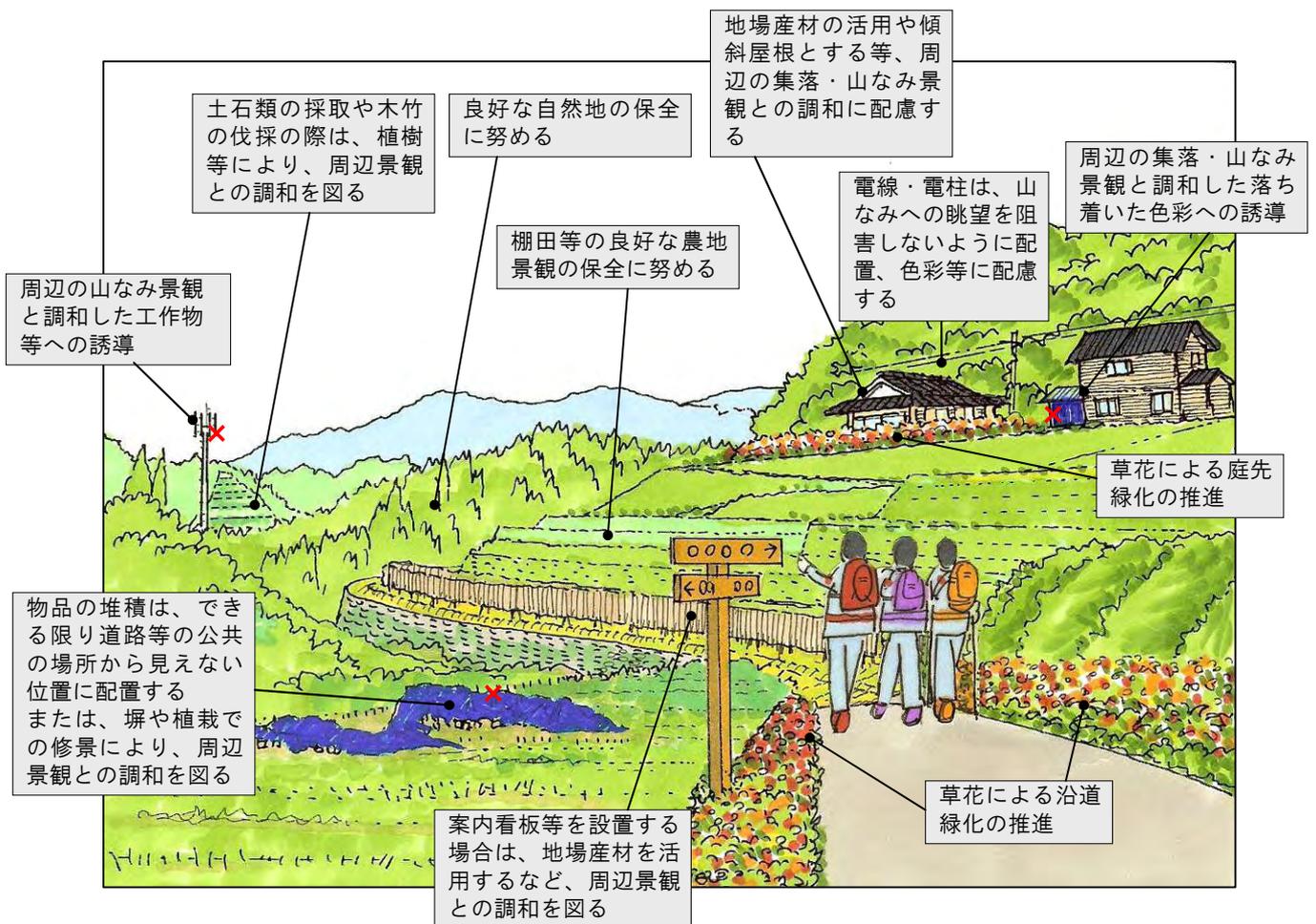
九州山脈の急峻な山なみを背景に集落地が点在しています。

また、山間部には石垣積みの棚田や焼畑など、椎葉の生活文化が長い時間をかけて醸成してきた景観がみられます。

(2) 景観形成方針

八重の山なみの美しい自然景観、およびこれと調和した棚田・集落の文化的景観の保全

- ・ 良好な自然地や棚田などの良好な農地の保全
- ・ 周辺の山なみと調和した色彩・形態の建築物への誘導
- ・ 草花による庭先、沿道の緑化の推進



2. 幹線・河川景観ゾーン

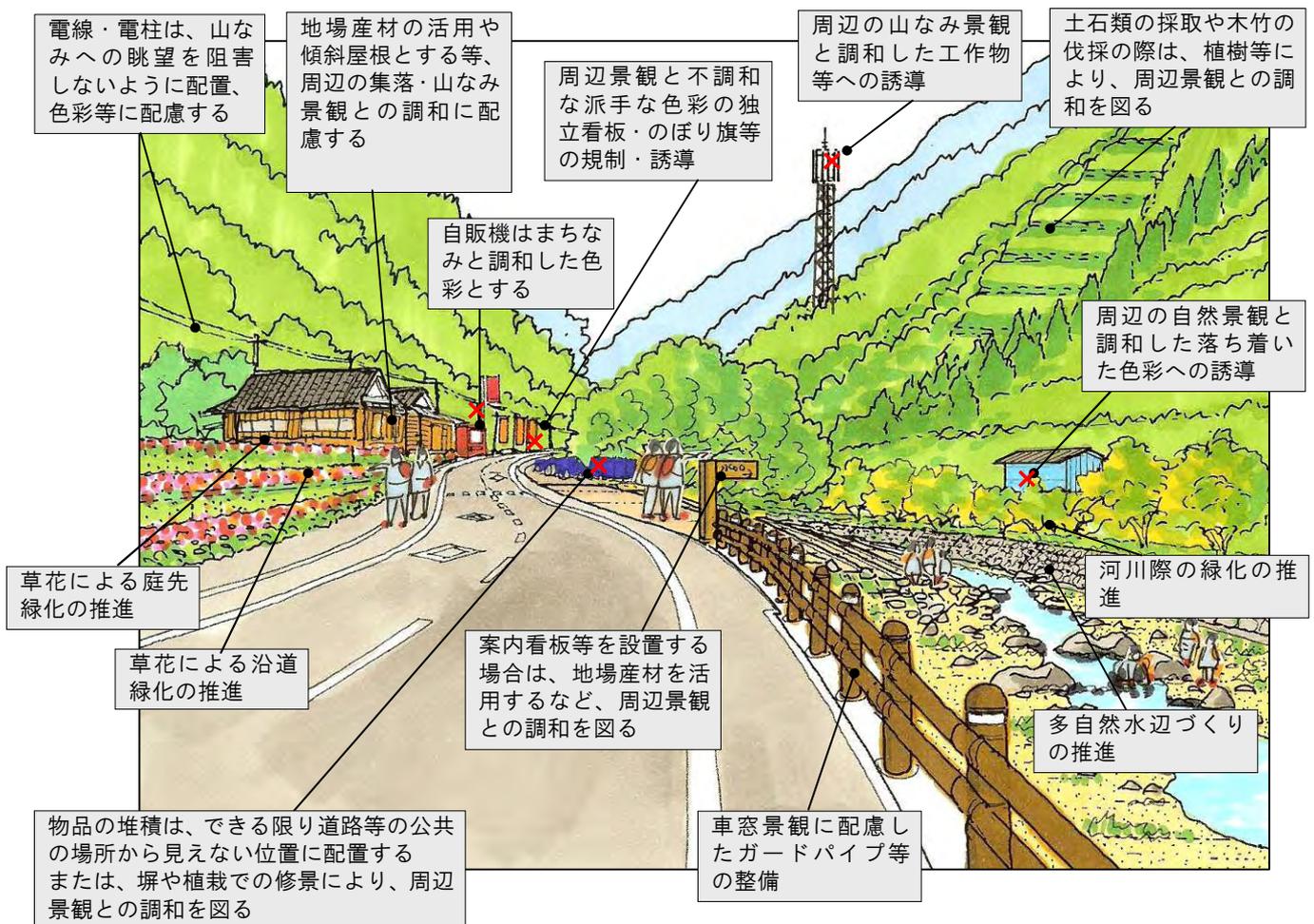
(1) ゾーン概況

山々の間を縫うように、耳川をはじめとする河川が流れています。それらの河川と並行して、村内の主要動線となる幹線道路が走っています。

(2) 景観形成方針

幹線道路・耳川等の河川沿線における、景観軸にふさわしい見られることを意識した車窓景観づくり

- ・ 村の玄関口、骨格軸にふさわしい車窓景観づくり
- ・ 耳川や渓谷の美しい河川景観の保全
- ・ 河川景観や背景の山なみと調和した色彩・形態の建築物への誘導
- ・ 河川景観と調和した構造物の形成



3. 十根川集落景観拠点

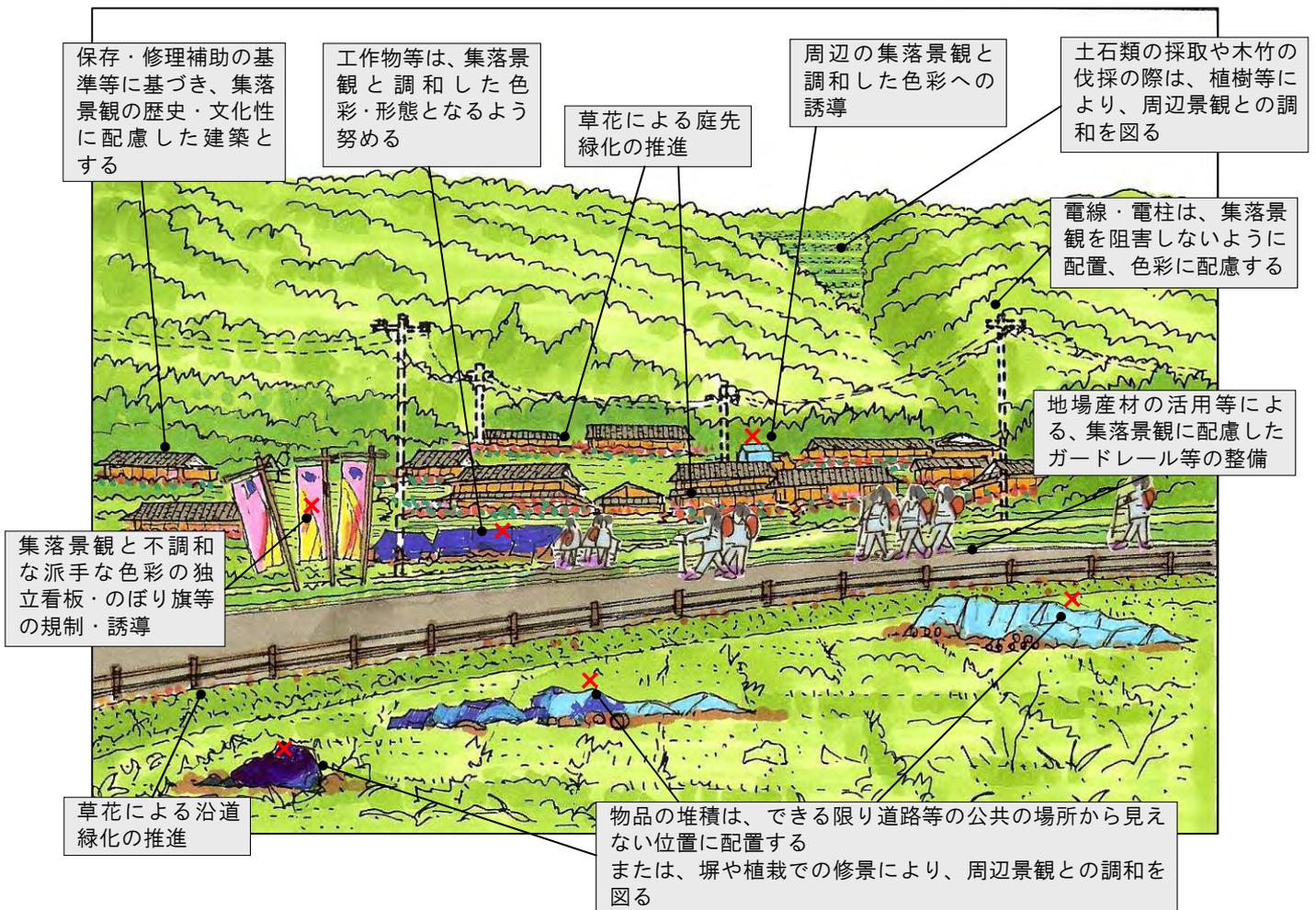
(1) ゾーン概況

十根川集落は、山の斜面に「椎葉型」といわれる民家が集まる山村集落であり、国の重要伝統的建造物群保存地区に指定されています。独自の建築様式は、村民にとって椎葉らしさを感じる景観の一つとなっています。

(2) 景観形成方針

伝統的建築物群保存地区およびその周辺のバッファゾーンにおける、 歴史拠点としての保全・育成

- ・ 伝統的建築物群の保全・育成
- ・ 伝統的建築物群と調和したバッファゾーンの景観の保全・育成
- ・ 草花による庭先、沿道の緑化の推進



4. 市街地景観拠点

(1) ゾーン概況

上椎葉地区、岩屋戸地区、尾前地区には、まとまった市街地が形成されています。

しかし、市街地を通る幹線道路沿いでは店舗等の立地により、訪れる人をもてなすこれらの自然豊かな沿道景観が阻害されている箇所があります。

(2) 景観形成方針

上椎葉・松尾・尾前市街地における、 村の顔にふさわしい品格のあるまちなみ景観づくり

- ・ 景観拠点としての重点的なまちなみ景観誘導、道路等の公共施設の景観整備
- ・ 周辺のみちなみと調和した色彩・形態の建築物への誘導
- ・ 草花による沿道の緑化の推進

